

様式第 1 号（第 6 条関係）

協働事業に関する提案書

令和 6 年 5 月 8 日

（あて先）狭山市長

団 体 名 Hospitality Halloween 実行委員会
所 在 地 狭山市柏原新田 311-1
代表者名 マルケス ペドロ

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	市民提案型協働事業
2 事業名	Hospitality Halloween 「AI クッキング（お菓子作り体験）、トリックオアトリート、フォトスポット」
3 事業期間	令和 6 年 6 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日
4 事業種別	☒ 単年度事業 ☐ 継続事業
5 事業予算	総額 706,288 円（内補助金申請額 354,000 円）
6 事業概要 ※100 字以内で簡潔に記入してください	令和 6 年 1 0 月 2 6 日（土）、2 7 日（日）に西武学園の狭山キャンパスで地域の子どもたちから高齢者までを対象に文理の生徒学生が企画した「Hospitality Halloween」を開催する。中高大の 3 つのキャンパスでそれぞれ異なるアトラクションを提供し、子どもたちから高齢者まで幅広い年代が共に楽しめる内容に重点を置く。
7 希望する担当課 ※不明の場合は未記入	市民部 柏原地区センター
8 添付書類	☒ 協働事業に関する企画書（様式第 2 号） ☒ 協働事業収支予算書（様式第 3 号） ☒ 協働事業実施スケジュール（様式第 4 号） ☒ 協働事業提案団体概要書（様式第 5 号）

様式第 2 号（第 6 条関係）

協働事業に関する企画書

団体名 Hospitality Halloween 実行委員会

1 事業名	Hospitality Halloween 「AI クッキング（お菓子作り体験）、トリックオアトリート、フォトスポット」
2 事業の詳細	令和 6 年 10 月 26 日（土）、27 日（日）に西武学園文理の狭山キャンパスで、地域の子どもたちから高齢者まで幅広い年代を対象に生徒学生が企画したプロジェクトとして、様々なアトラクションとデジタルコンテンツを含めた大規模ハロウィン祭りを開催する。デジタル教育コンテンツを市民に無料で提供、高齢者向けのコンテンツ（複数休憩所と案内を含む）を提供、子どもから高齢者までの触れあいの場作りを目的とした企画である。コンテンツの①スーパーカーディスプレイ、②お菓子作り体験、③お化け屋敷、④ポケモンカード大会、⑤10t トラックステージ、⑥ダンススリラー、⑦コスチュームコンテスト、⑧トリックオアトリート、⑨市長による表彰、⑩フォトスポット（映えスポット）、⑪AI 生成コスチューム、⑫ロゴコンテスト、⑬多言語パネルガイドダンス、⑭一番怖い TikTok コンテスト、⑮HADO 体験、⑯怖いアニメキャラ創作コンテストのうち、協働事業で行える範囲である企画②の AI アプリを使用して、AI がハロウィンテーマに基づいたレシピやデザインを提供する「お菓子作り体験」。⑧の中高生プロジェクトチームの生徒が企画して、当日、仮装した生徒学生が学校周辺の柏原地区の民家にお菓子を持って訪問する（地域交流）「トリックオアトリート」。Hospitality Halloween に来校された方々が、ハロウィンをテーマにした⑩の「フォトスポット（狭山市制施行 70 周年ロゴマーク入り）」でご家族や友人、ご夫婦で記念の写真撮影ができるスポットの一部を協働事業として提案する。準備、飾り付け、片付け、案内、ゴミの管理等は、学園の生徒学生

	が行う。 地域活性化のため、新狭山商店街通りの装飾を地元小学生が作成した飾りを付けたり、トラックステージでは、文化的発表として地域の子供のダンスサークルや高齢者のサークル、地元小中学校の児童生徒の合唱、合奏等の発表を取り入れ地域の協力を得たい。
3 実施体制	実行委員会 委員長：マルケス・ペドロ 副委員長：伊藤 邦義 構成委員：学校教職員・イベントラーニングコース在籍の大学生・高校生・中学生・民間企業・地域ボランティア
4 役割分担	【提案団体の役割】 イベント企画、準備、実施、運営、来場者の安全確保。
	【市の役割】 イベントの市民への通知。 (1) 自治会へのポスターやチラシなど配布や掲示の依頼 (2) 地域住民への PR (3) 公民館だよりの開催案内の掲載
5 協働の効果	高齢者と子ども・若者と幅広い年代の触れ合いを通して、市民の精神的な健康を支援すること。 AI の時代が始まったことを踏まえ、デジタルコンテンツのアトラクションを通して、市民のデジタル教育の場を提供し、市民のデジタルに対する意識を育成する機会を提供。 実行委員会としては、学園の生徒学生の勉強の場を設けること、そして学校を取り巻く地域の活性化に貢献することをこの事業で実現したい。

6 事業のアピールポイント	埼玉県から注目されるイベントにしたい。狭山市にとって大きなアピール効果をもたらす。イベントのアピールポイントは2つ。①子どもから高齢者までの幅広い年代の触れあいを可能にする楽しい場を提供し、市民の健全な精神をサポートすること②デジタルコンテンツのアトラクションを通して市民のデジタル教育の大切さに関する意識を高めることである。 このイベントのチラシ、ポスターや資料については、協働事業として、3つのコンテンツに対しての一部補助であることを表記する。
---------------	--